

欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2012年5月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2012年5月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽光:スイス】世界最大のソーラー船、世界一周航海成功
- 【太陽光:ドイツ】コネルギー、国内で太陽光発電施設2カ所建設
- 【風力:英国、オランダ】エネコとEDFエナジー、洋上風力発電開発で合弁
- 【風力:英国】陸上風力発電の経済効果、昨年は5億ポンド超
- 【風力:ドイツ、ポーランド】RWEイノジー、ポーランドで4カ所目の風力発電所を建設
- 【地熱:イタリア】EGP、米ユタ州に地熱発電所を建設
- 【潮力:英国、スペイン】世界最大級の潮力発電プロジェクト、順調な滑り出し
- 【CCS:英国】英政府、新興市場のCCS支援に最大6,000万ポンド拠出
- 【低排出車:スペイン】ガメサ、トヨタとEV拡販に向けて提携
- 【排出権取引:EU】EU-ETS対象施設の排出量、昨年は2%減

--- ニュース -----

【太陽光:スイス】世界最大のソーラー船、世界一周航海成功

スイス国籍の世界最大のソーラー船「プラネットソーラー」が5月4日、585日間に及ぶ世界一周の旅を終えてモナコ港に帰還した。プラネット・ソーラーは設備容量93.5kW、総面積537平方メートルの太陽電池パネルと6つのリチウムイオンバッテリーを搭載し、太陽光のみをエネルギー源に航海を行う。2010年9月にモナコ港を出国した後、太陽光を最大限に利用するために、赤道に沿って6万6キロメートルを航行。大西洋、パナマ運河、太平洋、スエズ運河を経て、地中海に戻ってきた。

参照:

<http://www.planetsolar.org/the-boat>

<http://www.planetsolar.org/expedition>

<http://www.boatinternational.com/2012/05/05/turanor-planetsolar-completes-her-sun-powered-circumnavigation/>

【太陽光:ドイツ】コネルギー、国内で太陽光発電施設2カ所建設

再生可能エネルギー関連システムを手掛けるコネルギーは5月16日、ドイツ西部ラインラント＝プファルツ州のトリアー(Trier)に、太陽光発電施設2カ所を建設すると発表した。容量1.2MWの太陽光発電施設「メーリングVI」は高速道路A1沿いに、1.0MW級の太陽光発電所はトリアーと隣町ビットブルクの間位置する旧軍用地に建設される。コネルギーは施設の設計から建設、太陽電池パネルを含むシステム部品の供給まで一貫して手掛ける。両施設とも6月末までの稼働を目指しており、完成すると、合わせて800世帯の電力需要を賄うことができる見通し。また、年間1,300トンの二酸化炭素(CO2)排出量を削減することができる。コネルギーは2009年にトリアー北東のフェーレンで太陽光発電施設の建設に携わったほか、昨年は「メーリングIII」

のシステム部品供給を行った。今回の2つの施設を加えると、同地域で展開する太陽光発電の設置容量は13MWに達する。

ニュースリリース:

http://www.conergy-group.com/en/desktopdefault.aspx/tabid-39/57_read-2468/

【風力:英国、オランダ】エネコとEDFエナジー、洋上風力発電開発で合併

オランダのエネルギー大手エネコ(Eneco)とフランス電力公社EDFの英国子会社EDFエナジーは4月26日、洋上風力発電の開発を手掛ける折半出資の合併会社「エネコ・ウインドUK」を設立したと発表した。同社はエネコが英国海域を管理する政府系機関クラウン・エステートから開発権を取得している「ナビタス・ベイ(Navitus Bay)」を初めとする一連の洋上風力発電プロジェクトに取り組む。ナビタス・ベイはワイト島の西海域で計画されている大型プロジェクトで、発電容量は最大1.2GWに達する。完成すると、英国の82万世帯の電力需要を賄うほか、年間約118万6000トンの二酸化炭素(CO2)排出を削減できると見られている。同社は現地調査を経て、2013年末までに英国当局にプロジェクト開発申請を提出する予定。

ニュースリリース:

http://corporateuk.eneco.nl/News_and_Media/pressreleases/Pages/Eneco-and-EDF-Energy-Announce-Joint-Venture-to-Develop-Navitus-Bay-Wind-Project.aspx

<http://www.edfenergy.com/media-centre/press-news/Eneco-and-EDF-Energy-Announce-Joint-Venture-to-Develop-Navitus-Bay-Wind-Project.shtml>

【風力:英国】陸上風力発電の経済効果、昨年は5億ポンド超

英国のエネルギー・気候変動省は5月7日、再生可能エネルギーの業界団体リニューアブルUKとの共同調査で、昨年の陸上風力発電事業の経済効果は5億4,800万ポンド相当に上り、8,600人の雇用を支えているとの見解を明らかにした。同調査では全国各地に散在する異なる規模の風力発電所18カ所を対象に、プロジェクト開発から建設、運営、保守業務までの全工程が現地や地方、国に与える経済的な効果を多角的に検証した。設置容量1MWあたり70万ポンド近くの経済効果があり、このうち10万ポンド超が地方経済に波及するとしている。また、2020年までに経済効果は7億8,000万ポンドまで膨らみ、雇用規模も1万1,600人に増大する見通し。

ニュースリリース:

<http://www.bwea.com/media/news/articles/pr20120507.pdf>

【風力:ドイツ、ポーランド】RWEイノジー、ポーランドで4カ所目の風力発電所を建設

独エネルギー大手RWE傘下の再生可能エネルギー子会社RWEイノジーは5月10日、ポーランド北部グダンスク市郊外に、設置容量39MWの風力発電所を建設すると発表した。総工費は6,000万ユーロ超。独りパワーシステムズ製の定格出力2.05MWの風力タービン19基を設置する予定で、2013年初めの稼働を目指している。完成すると5万世帯の電力需要を賄うことができる見通し。RWEイノジーは2015年までにポーランドにおける風力発電の累積設置容量を300MW近くまで引き上げることを目標に掲げている。同国では既に3カ所の風力発電所を稼働させており、今回の発電所を含めると、総設置容量は147MWに達する。

ニュースリリース:

<http://www.rwe.com/web/cms/en/86182/rwe-innogy/news-press/press/?pmid=4007825>

【地熱:イタリア】EGP、米ユタ州に地熱発電所を建設

イタリアの電力大手エネルの再生可能エネルギー子会社、エネル・グリーン・パワー(EGP)は5月7日、米国ユタ州南部のコーヴ・フォートに設置容量25MWの地熱発電所を建設すると発表した。既に建設を始めており、2013年の稼働を目指している。総工費は1億2,600万ドル。完成すると年間発電量は160GWh(ギガワット時)に上り、1年間に11万5,000トンの二酸化炭素(CO2)排出量を削減することができる見通し。EGPは既に、米ネバダ州に2カ所の地熱発電所を稼働させており、うち1カ所は太陽光との混合発電を行っている。今回の発電所を含めると、米国における地熱発電総容量は72MWに達する。

ニュースリリース:

<http://www.enelgreenpower.com/en->

【潮力:英国、スペイン】世界最大級の潮力発電プロジェクト、順調な滑り出し

スペインの電力大手イベルドロウラの英国子会社スコティッシュ・パワーは5月17日、スコットランド西岸のアイラ海峡で実施していた潮力発電実証プロジェクトの第1テスト期間を完了し、テスト施設を運営する欧州海洋エネルギーセンター(EMEC)があるオークニー諸島エディー島への電力供給に成功したと発表した。同プロジェクトはスコットランドで初めて実施を許可された世界最大級の潮力発電プロジェクトで、出力1MWの潮力タービン10基を設置し、2013年の稼働を目指している。タービン1基で、500世帯の電力需要を賅うことができるとみられている。昨年12月に第1基目を設置。各種の実証試験を行ったほか、最大出力の電力供給に成功した。今後はタービンの設置数を増やすとともに、耐久性調査を含む実証試験を継続する。

参照:

http://www.scottishpowerrenewables.com/pages/press_releases.asp?article=145&date_year=2012

【CCS:英国】英政府、新興市場のCCS支援に最大6,000万ポンド拠出

英国のエネルギー・気候変動省は4月25日、新興市場における二酸化炭素回収・貯留(CCS)の技術開発プロジェクトに最大6,000万ポンドの財政支援を行うと発表した。国際的な枠組みの中でCCS政策の進展を促す二酸化炭素回収・利用・留保(CCUS)アクション・グループが新興市場におけるCCSを促進するためには2億ドル相当の支援が必要と勧告したのに応じたもの。このうち、9,600万ドル相当を英国が拠出することになる。CCUSアクショングループは2010年、英政府とオーストラリア政府の後押しで、設立された。各国政府や関連機関、業界などの意見をまとめ、クリーンエネルギーに関する閣僚会議(GEM)に勧告を行うことを主業務としている。

ニュースリリース:

http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn12_053/pn12_053.aspx

http://www.cleanenergyministerial.org/pdfs/factsheets/FS_CCUS_April2012.pdf

【低排出車:スペイン】ガメサ、トヨタとEV拡販に向けて提携

スペインの風力タービン製造大手ガメサは4月24日、トヨタ自動車と電気自動車(EV)の利用拡大に向けた取り組みで提携したと発表した。両社は近い将来のEV拡販を目指し、6カ月間の実証テストに共同で取り組む。ガメサは、トヨタから貸与されたプラグインハイブリッド車「プリウスPHV」を都市部や風力発電施設などでテスト走行を行い、実証データをトヨタと共有する。分析結果は政府系研究機関IDAE(エネルギー多様化・省エネルギー研究所)が手掛ける低排出車の総合評価を目的としたイニシアチブ「モーヴェレ(Movele)」に提出される見通し。ガメサはクリーンエネルギー事業多角化を進めており、EV向け充電スタンドの開発・製造に乗り出している。

ニュースリリース:

<http://www.gamesacorp.com/en/communication/news/gamesa-and-toyota-spain-sign-collaboration-agreement-to-boost-use-of-electric-vehicles.html?idCategoria=0&fechaDesde=&especifica=0&texto=&fechaHasta=>

【排出権取引:EU】EU-ETS対象施設の排出量、昨年は2%減

欧州委員会は5月15日、昨年の欧州排出権取引制度(EU-ETS)の対象となっている産業施設からの二酸化炭素(CO2)排出量が前年から2%以上低下したと発表した。欧州委は経済が回復基調にあった中で排出量が減ったことで、EU-ETSによる排出量削減効果が証明できたとしている。ただ、未使用の無償排出割当枠があったことから、2013年以降の無償割当枠を削減する方向で検討を続ける予定。なお、今年からEU-ETSに組み込まれたEU域内を離着陸する航空会社1,200社以上が3月の期限までに昨年の排出量を報告した。一方、EU-ETSの対象となることに異議を唱えている中国の航空会社8社とインドの航空会社2社の計10社が報告を拒否している。

ニュースリリース:

<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/12/477&>

◎「欧州の環境市場と環境規制 2011-12年版」(約150ページ) 2011年10月20日発売



サンプルページは画像をクリック！

風力発電など一部では2010年に減速感が表れたものの、欧州環境市場の長期的な成長トレンドに変わりはない。低炭素社会への移行に伴い、再生可能エネルギーを中心に息の長い市場拡大が続くと期待される。脱原発を決めたドイツは、従来以上に再生可能エネルギーの利用を促進する方針だ。本レポートは最新の統計データを中心に、欧州環境市場の動きをまとめると同時に、市場拡大の担い手である先進企業100社について、その戦略と最新動向を紹介する。

また、環境市場の動向に大きな影響を与えているのが規制の枠組みだ。2050年までに低炭素経済を構築することを目指すEUの環境規制は、気候変動政策の枠組みだけでなく、今後の資源効率政策によって広範な産業に影響を及ぼす可能性が出てきた。企業にとって制約であると同時に成長のチャンスでもあるEUの環境規制について、過去1年間の新たな規制と今後ウォッチしておきたい協議中の規制の最新動向を解説する。

主な内容

環境市場と先進企業100社(約90ページ)

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2010年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2010年実績と成長見通し
- 各国政府の支援制度の動向
- 分野別の成長予測

環境規制動向(約60ページ)

- 2050年の低炭素経済構築に向けたロードマップ
- 原料戦略と資源効率ロードマップの見通し
- エネルギー効率指令案の概要
- エコデザイン指令の動向
- EU排出権取引の制度動向と炭素リーケージ
- 自動車(乗用車、バン、トラック)のCO2排出規制と乗用車エコイノベーション規則
- スマートシティ/コミュニティの促進
- 過去1年間の主要規制の改正動向
 - WEEE・RoHS指令、廃車指令、REACH、エネルギーラベル
- 留意したいその他の主要規制の今後の動向
 - Fガス規則の改正、エネルギーインフラ・プロジェクト支援に関わる規制、エネルギー税新指令 など

価格(PDF・全税別) : 680ポンド/780ユーロ/89,000円

サンプルページはこちら ⇒ http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_env2011.pdf

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

◎「欧州エコカーの市場と戦略 - 欧州自動車産業 2011-12年版」(約100ページ)

2011年10月3日発売



画像は 2011-12 年版です。

サンプルページは画像をクリック！

欧州の自動車市場は大きな転換期を迎えている。ロシア市場や中東欧の一部を除けば規模の成長は頭打ちとなったものの、今や欧州から世界の今後の自動車産業を塗り替えるトレンドが生まれている。厳しい環境規制や様々な産業を巻き込む環境技術、激化する自動車各社の競争を背景にエコカーとエコカーを支える社会基盤が広がりを見せてきた。本レポートでは欧州のエコカー市場とそれを支える環境規制や基盤の最新動向をとらえ、欧州を舞台とした各社の戦略と市場の今後の見通しを明らかにする。また、欧州以外でも主要乗用車メーカーが世界各地で導入を予定しているエコカーをまとめた。さらに、ロシアを含めた欧州自動車の市場・業界全般の過去1年の動きについて、販売・生産統計や各社の展開を中心に網羅する。

主な内容

- 欧州のエコカーと自動車市場をめぐる重要トレンド
- エコカー市場を支えるEUの規制と環境政策
- 電気自動車はじめ欧州エコカー市場の現状と見通し
- 主要乗用車メーカーの欧州を中心とした展開とエコカー戦略
- 各社が世界で今後導入を予定しているエコカーの一覧
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向と市場の見通し

価格(PDF・全税別) : 480ポンド／550ユーロ／63,000円

サンプルページはこちら ⇒ http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_auto2011.PDF

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

◎「躍進するインドの産業 -インフラ・自動車・エネルギー」(約100ページ)

2011年8月1日発売

力強い成長を続けるインド経済。本レポートは経済と投資環境に関するマクロ情報のみならず、自動車に加え再生可能エネルギー、鉄道、道路など注目を集めるインフラ産業の最新動向と見通しを解説。インドに進出済みの企業はもちろん、これから進出を目指す企業にとっても役に立つ情報を満載した。

主な内容

- インドの経済・投資動向と日系企業の進出状況
- 日印CEPAとインドのFTAの動向
- 成長のカギを握るインフラ整備の現状と主要セクターの動向、主要プロジェクト
- 自動車の販売市場、生産の現況と今後の見通し
- 自動車部品の販売動向と見通し
- 政府の自動車関連の政策
- インドにおける乗用車メーカー各社の最新動向
- 需要急増するエネルギー:エネルギー分野の状況
- 再生可能エネルギー分野(風力発電、太陽エネルギー)の現状と可能性
- 石炭・ガス火力発電の動向

価格(PDF・全税別) : 18,000ルピー／250ポンド／280ユーロ／1,500AED／
500シンガポールドル／33,000円(全税別)／410米ドル

サンプルページはこちら ⇒ http://www.ebsukltd.com/india/pdf/sample_india%20report%202011.pdf

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/india/index.html#a2>

◇◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中!◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承ください。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。
news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。
